

2012年(平成24年)

1月13日

金曜日



山雅とともに味も全国区へ



チームカラーの緑色の皮に包まれた「松本山雅餃子」。松本山雅を支援する約230社のスポンサー企業のひとつギョーザ製造・販売の「信栄食品」（松本市）が昨年から売り出した新商品だ。「山雅とともに成長したい」。神倉藤男社長（48）のそんな思いが込められている。

松本のスポンサー企業

信州の食材使用 皮が緑の新餃子

点心料理で緑色のヒスイギョーザをヒントにした。皮は、ホウレン草パウダーを練り込んだ。中の具材は信州産の豚肉とニラを使用。1万食が売れたことから売上金の一部の20万円をチーム活動費としてクラブに寄付した。

新商品開発は、「今季こそJ2昇格」というクラブの本気を感じたからだ。元日本代表の松田直樹選手が加入。同じ群馬県出身の神倉社長は、高校時代からの松田選手の活躍ぶりを知っていた。

神倉社長は調理設備などを備えた移動販売車を購入



し、ホームゲームのアルウィンで販売するなど、松本山雅餃子に期待をかけた。「昨年1年間、自分たちも山雅とともに戦った。終盤はハラハラさせられたけど、（J2昇格は）感無量でした」

今季も引き続きスポンサーを続ける。サポーターらの口コミで商品の知名度も広がっている。「自分たちの会社も松本山雅と同じように、松本を拠点に全国に羽ばたいていきたい」

（田中正一）